

対象をジュニアとするイベント開催のガイドライン (第1版)

皆さまにおかれましては、下記とともに体調確認書(別添)をご一読いただき感染拡大防止にご理解とご協力をお願いいたします。

- 参加者向け(保護者・同伴者含む) は、体調確認書を別添えしていただくことによりそのままの文章で使用できる様式になっております。
- 検定会用はJGRA、各事業所主催共通で使用できるよう細分類されていますので、ガイドラインと合わせてお読み下さい。

2020.7.15 第1版発行

主催者向け

- 1、開催当日の来場時に、参加者・保護者・同伴者・関係者には体調確認書の提出をお願いすること。募集時から次の場合には参加や同伴を認めないことを表明すること。
 - ・ 体調確認書の提出がない場合
 - ・ 開催日当日を含めて14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ・ 開催日当日を含めて7日以内に37.5℃以上の発熱があった場合
 - ・ 体調確認書のチェック欄の該当項目がある場合
 - ・ 主催者及び会場スタッフによる検温等の求めに応じない場合
- 2、参加者・保護者・同伴者・関係者には十分な体調管理をお願いすること。
 - ・ 開催前 7日前から体調管理と検温をお願いし、体調確認書に記入する。
 - ・ 当日 朝、ご自宅で検温をお願いし、受付時にも検温をする。
当日の検温をして体調がすぐれない場合は参加を見合わせていただく。
 - ・ 開催後 終了後2週間以内に医療機関等において新型コロナウイルスを発症した場合は、主催者に対して速やかに報告をすること
- 3、開催前から当日までの期間に体調確認書の各項目に該当する場合は参加や同伴を見合わせる。参加を断念しやすい環境を与え、主催者へ連絡をお願いすること。
具体的には、項目1の他に以下の項目となる。
 - ・ 風邪の症状(くしゃみや咳が出る)、発熱症状(37.5℃以上)等で体調がすぐれない方
 - ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさがある方
 - ・ 咳・痰・胸部不快感のある方

- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある方
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる方
- ・ 嗅覚、味覚に異常を感じる方
- ・ 新型コロナウイルス感染可能性の症状がある方

4、参加者には、マスク着用を求めます。

着用を求める場所 受付時、屋内、カート乗車時、会話をする際、等プレーを行っていない時
着用を求めない プレー中

関係者には、マスク着用を求め、必要に応じてフェイスシールドを着用すること

風や落とすことによりマスクを紛失することもあり得ます。従って予備マスクの持参を促し、さらに主催者で相当数を用意することが望ましい。

5、こまめな手洗い、消毒液等による手指消毒を実施すること。

消毒液をスタッフは1人1個携帯し、1ホールごとを目安に全員で手指消毒すること。感染防止のために自ら率先して消毒等を行い、参加者や引率保護者へも促すこと

6、他の参加者・保護者・同伴者・関係者との距離をできるだけ2m以上（最低1m）を確保すること。

7、現地集合現地解散を推奨する。移動手段として貸切バスやスタッフの自家用車を使用する場合には、感染予防対策を徹底すること。貸切バスを使用する際には（公社）日本バス協会発行の感染対策ガイドライン（http://www.bus.or.jp/news/covid-19guideline_v2.pdf）に従い、予め業者と打合せをしておくこと。

8、準備（物品、人の役割等）が必要です。

特に夏は熱中症との見分けがつきにくい点も指摘されています。会場と連携し、会場近くの医療施設（受け入れ施設の選定）を調査し、そこへ誰がどのように運ぶか決めておく和良好的でしょう。また、物品は何が必要で、十分足りているか、そして誰が持っているかを確認しておくべきです。

9、主催者は、参加者・保護者・同伴者・関係者に対して連絡先をはっきりと明示しておくこと。

全員の緊急連絡先を保持し、万が一の時に対応できる措置をとること

関係者・会場とも新型コロナウイルス感染予防対策について綿密な打ち合わせを行うこと

参加者向け

(公社) 全日本ゴルフ練習場連盟ジュニアゴルファー育成委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止について 参加者・保護者・同伴者及び関係者の皆さまへのお願い（重要）

皆さまにおかれましては、下記をご一読いただき感染拡大防止にご理解とご協力をお願いいたします。感染予防のために、政府や地方自治体の WEB サイトにて最新情報をご確認下さい。

1、開催当日の来場時に体調確認書（別添）のご提出をお願いいたします。次の場合は、参加や同伴を認めません。尚、一人1枚の提出が必要です。

- ・ 体調確認書の提出がない場合
- ・ 開催日当日を含めて14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・ 開催日当日を含めて7日以内に37.5℃以上の発熱があった場合
- ・ 体調確認書のチェック欄の該当項目がある場合
- ・ 主催者及び会場スタッフによる検温等の求めに応じない場合

2、保護者の管理のもと、参加者・保護者・同伴者には十分な体調管理をお願いいたします。

- ・ 開催前 7日前から体調管理と検温をお願いし、体調確認書に記入して下さい。
- ・ 当日 朝、ご自宅で検温をお願いします。会場にて受付時にも検温をいたします。
当日の検温をして体調がすぐれない場合は参加を見合わせて下さい。
- ・ 開催後 終了後2週間以内に医療機関において新型コロナウイルスを発症した場合は、主催者に対して速やかに報告をして下さい。

3、開催前から当日までの期間に体調確認書の各項目に該当する場合は参加や同伴を見合わせて下さい。来場せずに参加を断念する場合には、必ず主催者へご連絡下さい。

具体的には、項目1の他に以下の項目となる。

- ・ 風邪の症状（くしゃみや咳が出る）、発熱症状（37.5℃以上）等で体調がすぐれない方
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある方
- ・ 咳・痰・胸部不快感のある方
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある方
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる方
- ・ 嗅覚、味覚に異常を感じる方
- ・ 新型コロナウイルス感染可能性の症状がある方

4、マスクをご持参願います。

着用を求める場所 受付時、屋内、カート乗車時、会話をする際、等プレーを行っていない時
着用を求めない プレー中

風や落とすことによりマスクを紛失することもあり得ます。従って予備マスクの持参を推奨し、無いという状況にはならないように注意して下さい。

5、こまめな手洗い、消毒液等による手指消毒を実施して下さい。

6、他の参加者、保護者、同伴者、関係者との距離をできるだけ2m以上（最低1m）を確保して下さい。

7、大きな声での会話はしない。

8、食事をする場合は、家族以外の方と分け合うことはお控え下さい。

9、感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、指示には従うこと。
従わない場合は、委員長の裁定のもと規定に従い処置をする場合があります。

検定会

コロナ対応：JGRA 主催・各事業所主催共通

- 1、募集
体調が芳しくない際に無理させないようにキャンセルしやすい環境を与えることを推奨します。例えば、キャンセル料はかかりません、等。
コロナ禍においては、現地集合、現地解散を推奨しますが、例外の時は主催者向けガイドライン（項目7）を参照して下さい。
人（スタッフ）、モノ（備品）、タイム（時間）の余裕をもったスケジュールを組みましょう。
- 2、打合せ
関係者との綿密な打ち合わせを重ねましょう。
- 3、出発地点
体調確認書の提出、検温、手指の消毒、トイレ確認をする。
体調確認書の提出がない、項目チェック、検温結果 37.5℃以上の熱がある方は、参加をさせない。
マスクの着用をしてください。
- 4、会場到着
マスクの着用確認をする。
現地集合の参加者は、体調確認書を提出する。
入口にて検温、手指消毒をしてから入場、受付をする。
体調確認書の提出がない、項目チェック、検温結果 37.5℃以上の熱がある方は、参加をさせない。
- 5、スタート準備
マスクを着用して下さい。
屋内ではできる限り、他の方との身体的距離を確保してください。
会話は控え、会話をする際はできる限り 2mの距離を確保して下さい。
- 6、開会式
他の方との身体的距離をわかりやすい形で表し（例：ティマークや板などで立体的に立ち位置を指定する）、実際立つことでその距離感の説明をすることを推奨します。
マスクを着用して下さい。
できるだけ屋外での実施を検討すること。
手渡しする物品がある場合は予め消毒をし、手袋をした者が渡すことが望ましい。

- 7、ペーパーテスト マスクを着用して下さい。
一方を向く形でデスクレイアウトをつくること
手渡しするテスト用紙は、予め消毒を施し手袋をした者が渡すことが望ましい。
- 8、ラウンド 組ごとに集まって会話する際にはマスクの着用をして下さい。
プレー中は、大声を出すことができないため、マスクを外しても構いませんが、ポケットにマスクを入れておくこと。
ティイングエリアで全員手指消毒を行うこと。
- 9、閉会式 ラウンド後にはアテストの時間を最小限にすること。
できるだけ屋外での実施を検討すること。
他の方との身体的距離をわかりやすい形で表し（例：ティマークや板などで立体的に立ち位置を指定する）、実際立つことでその距離感の説明を含めることを推奨します。
マスクを着用して下さい。
手渡しする物品がある場合は、予め消毒をし、手袋をした者が渡すことが望ましい。
- 10、検定員に携帯 消毒液・予備マスク
させるもの
- 11、食事 飲食は個人で用意した物に限ることが望ましい。会場レストランでとる場合には、取り分けにならないように、分け合わないよう注意すべきです。
- 12、帰宅 終了後は速やかな帰宅を促すこと。